

【遺伝子改変動物作製に関するご質問】

- Q1 : 遺伝子改変動物の作製を依頼する際に必要なものは何か？
A1 : 標的遺伝子情報、動物種の情報は必要となります。なお、標的遺伝子の開示が難しい場合は、秘密保持契約を締結することで対応させていただきます。
- Q2 : 取り扱われる遺伝子改変動物の動物種は何か？
A2 : マウス、ラットのみの取り扱いとなります。
- Q3 : ゲノム編集技術によるノックイン動物作製を検討中だが、対応可能な動物種を教えてください。
A3 : マウス・ラットのいずれも作製可能です。また、近交系、非近交系問わず対応可能です。
- Q4 : ノックイン動物作製における挿入可能な DNA のサイズは？
A4 : ノックイン可能な DNA サイズは 8kb 程度までであれば実績がございます。
- Q5 : ゲノムサイズの遺伝子導入は対応可能か？
A5 : BAC クローンを利用したトランスジェニック作製が基本作業となりますが対応可能です。
- Q6 : ベクターのデザイン、準備も対応してもらえるか？
A6 : デザインについてはお客様の要望に沿って検討させていただきます。また、プラスミドベクターから数百 kb サイズの BAC ベクターまで、準備可能です。
- Q7 : 作製した遺伝子改変動物の遺伝型解析についての対応を教えてください。
A7 : 弊社で作製した動物については、最適な遺伝型解析条件を検討し実施いたします。ゲノム編集技術によるその解析では、PCR 等による判定の他にサザン解析による同定やシーケンス解析による配列確認まで対応可能です。また、その遺伝型解析条件についてはお客様の研究室でも実施できるよう情報をご提供させていただきます。

以上